

令和2年度第2回 第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録

日 時 令和2年12月17日（木）午前10時00分～11時55分  
場 所 多摩市立図書館 本館 講座室  
出 席 おはなしチャチャチャ、コアラ文庫、多摩おはなしの会、  
多摩市文庫連絡協議会、布の絵本サークル ピエロ、もりの文庫  
欠 席 つくしんぼ文庫、ひなたぼっこ、ひなの会

（事務局）

コロナ対策として距離をとり、換気をしながら時間短縮し開催する、ご理解願いたい。

開会

（事務局）

資料の確認（全て当日配付）

- 1 令和2年度第1回第三次多摩市子どもの読書活動推進市民ボランティア連絡会 要点録（案）の確認

（事務局）

- ・11月終わり頃、郵送にて委員に確認をし、修正したものである。  
（指摘のあった箇所の確認）  
（2頁26行目 脱字、3頁16行目 表現の修正（2か所）、3頁17行目 表現の修正、4頁1行目 脱字、4頁26行目 脱字、5頁26行目 表現の修正、6頁6行目 内容の追加、6頁7行目 内容の追加）
- ・これでよければ確定としたい。

（事務局）

- ・HP、行政資料室に設置する要点録も、発言した団体名を明記した方が良いと思うかどうか。

（おはなしチャチャチャ）

- ・かまわない。

（その他の団体から発言なし）

(事務局)

- ・では団体名は記載することとしてよいか。

(会長)

- ・団体名を記載することとし、第1回の会議録はこれで確定とする。

## 2 意見交換

### (1) 各館おはなし会の開催状況

(事務局)

(資料に基づき説明)

(会長)

- ・まず、実際に関わっている方、わかる方お話しください。

(コアラ文庫)

- ・以前と同様に、第四金曜日に実施。参加者は子ども1人、大人2人の合計3人であった。
- ・最初は誰も集まらなかったが、職員が声をかけた人が参加してくれた。
- ・絵本の読み聞かせ、紙芝居、エプロンシアターを行った。歌を歌うプログラムが中止となっているため、事前に録音した音楽に合わせて手遊びを行った。ただ、音が小さくはないか、著作権等に問題はないのかが心配である。

(多摩おはなしの会)

- ・つくしんぼ文庫代表者の代理として、聖ヶ丘図書館のおはなし会の報告をする。
- ・10月までは職員のおはなし会を見学し、11月から文庫もおはなし会に参加した。3部制で、1回を15分で行い、入れ替わり制とした。  
→同じコミュニティセンター内の学童クラブの児童の参加だけで定員に達して学童クラブ以外の子どもの参加を妨げることのないよう、事前申し込み制、3部制で調整し、当日参加も定員内なら可としている。また、参加人数にはばらつきがある。
- ・12月2日のおはなし会のことであったが、文庫の担当で自分ともう一人で行う予定にしていたが、数日前に自分の家族が発熱し、検査でコロナ感染陰性とわかるまで自分自身も外出を控えた。聖ヶ丘図書館に開催できない可能性があるかと連絡したところ、職員の方が「その場合は、私が代わって参加し、文庫と組んで一緒に開催しましょう」と答えてくださって大変心強く嬉しかった。最終的には、家族も陰

性と判明し、文庫で交代者もでき、おはなし会は実施できたが、今後も起こりうることであり気に留めて活動しなければならないと思った。

#### (文庫連絡協議会)

- ・私はコアラ文庫にも所属しているが、本館おはなし会に参加した。先着の札をもらったが、始まる時には定員の5組が既に埋まっていた。札をもらっていない人も、後ろの椅子席で参加していた。先着5名としているが、本館は比較的広いので臨機応変に行っている。これはよいことだと感じた。
- ・コアラ文庫さんのおはなし会についてだが、わらべうた・手遊びについては、多くの人が一斉に発声することを避けましょうということだと理解している。演者一人が、フェイスガードをして距離をとって行えば問題ないのではないか。録音したものの使用となると、機械や著作権等困難がある。
- ・大きな会場ではなく、声を遠くに届けなければいけないわけではない。目の前の子どもたちに話すのと同じで、それにメロディーが伴うだけである。

#### (多摩おはなしの会)

- ・つくしんぼ文庫代表者の代理として発言する。15分3部制で行っているが、子どもの楽しんでいる雰囲気盛り上がってきた中で15分になったときに、終了しづらい。親から「子どもが楽しんでいたので、ここをもう一度読んでほしい」等と言われることもある。時間を伸ばすつもりはないが、そういうことが多々あるため、対応の仕方の幅が欲しい。職員は少しくらい伸びても良いとは言ってくれたが、全体としてそういうことができるとうよい。

#### (おはなしチャチャチャ)

- ・定員制は密を避けるためだと思うが、皆さんの話を聞くと演者は2～3人。おはなしチャチャチャでは、皆の都合がよければ5～6人で行うこともある。演者の人数が多い場合、密対策のため定員を少し減らした方が良いのか疑問がある。

#### (会長)

- ・色々問題点があるが、「たぶんこうだろう」「これくらいはいいだろう」等それぞれが考えながら実施していくのには限界がある。図書館が「これだけは守ってもらいたい」ということを提示してくれれば迷うことはない。
- ・人数に関しても、関戸図書館では活動室の定員(本来の定員の半分)があった上で、おはなし会の定員5組として行っているが、全体として何人まで許容なのか。子どもが何人、ついてくる大人が何人、演者が何人と徹底したい。
- ・歌についても、一緒にやりましょうという声かけを控えればよいのではないかと。

書館としてはそれでもだめなのか。「歌」という括りの中でどういう風に考えているのか。各館に発信していただきたい。

(多摩おはなしの会)

- ・各館職員に、共通で理解できるよう発信してほしい。子どもが大きな声で一斉に歌ったり、歌を通して触れ合うことを今は避けたいのであり、歌そのものがいけないわけではないのではないか。
- ・おはなし会では、わらべうたによっては演者が歌い、子どもたちには「心の中で歌ってね」などのはたらきかけもできる。そのような工夫は行った。子どもが声を出したくなるような場面では、小さい声でね、とお願いした。

(会長)

- ・できるかぎり以前のようにおはなし会を行うために「これはやめてください」「これは守ってください」等発信のしかたを工夫してほしい。
- ・「歌を歌わないでください」を言葉通り受け取って「歌はいけないのか」となっている事実がある。何がいけないのかをはっきりしてほしい。
- ・12日に関戸図書館で行ったおはなし会では、職員がアナウンス(宣伝)をしなかった。館によって環境が違うから各館に任せているということだったが、任せすぎではないか。

(多摩おはなしの会)

- ・おはなし会を開催する日は、児童担当だけでなく職員の間で共有しておかなければならない。そこが徹底されていない。最低限共有しないといけない情報が行き渡っていない印象がある。

(会長)

- ・永山図書館では以前は、おはなしぼんぽこがおはなし会を実施していたが、資料には書かれていない。どんな理由で再開できていないのか、できれば今後のために確認していった方がよいのではないか。そこで大きな問題がわかるかもしれない。

(おはなしチャチャチャ)

- ・わらべうた等、「聞き手は歌わず演者が歌うだけなら大丈夫」「演者のみが歌うのであっても控えてください」というような指示は、事務局から出すことはできないのか。

(会長)

- ・関戸では、歌ってはいけないとは言われていない。
- ・図書館として、多摩市として、どんなエビデンスでどのように考えているのかをはっきりしてほしい。そうでないとそれぞれの判断で行うことになり、混乱する。細やかな指示が必要である。

(コアラ文庫)

- ・紙芝居や絵本でも歌を含むものがある。

(文庫連絡協議会)

- ・文書に「歌は歌わない」と書いてあるので、歌のある作品を避けた。そうすると、実施できるものが限られてしまう。「今だけだから」とも言えるが、コロナが終息する見込みがない中で、子どもたちに楽しいものを届けたい。

(会長)

- ・やはりそれぞれの判断ではだめだと考えている。

(事務局)

- ・歌は入れないということは各館から、各館のボランティア団体へお願いしている。
- ・エビデンスがわかれば解決する課題もあるが、わからない部分もあり、参加される方の安心が重要なので、今のようなルールで再開をお願いしている。また今日いただいた話を参考に考えるが、図書館内で検討させていただきたい。参加者が、最後まで安心していられる環境が大切だと考えている。

(おはなしチャチャチャ)

- ・決定がでるまでは演じてもだめなのか。

(事務局)

- ・歌のないプログラムで再開すると10月に決定した。

(多摩おはなしの会)

- ・図書館職員の中で、おはなし会やわらべうたの理解を深めてほしい。子どもにとってわらべうた・手遊びがどういうものか理解していないと、簡単に「歌はだめ」となってしまう。

(会長)

- ・ただ「歌」というと、朗々と歌うものからわらべうたや、「歌うように読む」というものまで含まれてしまう。何を想定して「歌」と言っているのかわかるように発信しなければ、歌は全て禁止になってしまう。

(文庫連絡協議会)

- ・以前は演者4、5人で行っていたが、今回15分での開催となったため最大3人で行った。

(コアラ文庫)

- ・演者は2人と言われていたが、誰かが新型コロナにかかる場合もあるので、3人を許してもらった。その代わりに、1人は袖の方において密にならないようにした。

(会長)

- ・濃厚接触者になった場合等、ドタキャンになってもしかたない状況だと思うがどうか。勇気をもって中止することが許容されていると思うが、おはなし会については、図書館はどう考えているか。

(多摩おはなしの会)

- ・子どもはおはなし会を楽しみにしている。無理することはないが、職員が代わりに行う等、開催のために最大限の努力は必要。

(事務局)

- ・「日程は変更になることがある」と記載している。安心安全が最優先であり、やむを得ない状況での中止は致し方ない。

(会長)

- ・それぞれで考え方が違うので、指示を出してほしい。
- ・おはなし会については、まだ手探り状態が続くと思うがよろしく願いいたします。

(2) 第12回子ども読書まつり《ほんともフェスタ》 おはなし会ボランティア団体の紹介(展示)について

(事務局)

- ・参考資料としてチラシを配付したが、デザインは変更になる可能性がある。
- ・団体紹介のパネル展示について、前回の会議で、各団体のメッセージを掲示したら

よいのではという意見があった。内容は指定しないが、A5サイズの紙に100～150字程度でメッセージを書き、パネルの下に付けるのはどうか。

(多摩おはなしの会)

- ・お知らせのある団体が、お知らせを出せるようにしてほしいという提案であり、パネルでは書きたりないから、という意味ではなかった。
- ・新型コロナの影響で活動が縮小しており、今回は「特別おはなし会」もなく、今年度のほんともフェスタは学校図書館の活動の紹介だけになってしまうというのではないか、そうなると、ほんともフェスタがこれまでやってきたこととは違ってしまふのではないかという危惧があったので、パネルに追加するものを提案した。
- ・内容は、各団体で考えればよい。

(布の絵本サークルピエロ)

- ・メッセージはパネルに既に記載している。

(会長)

- ・常時行っていたおはなし会の一覧表もなく、「特別おはなし会」も開催しない。学校の活動の紹介と講演会だけになると、何のためのほんともフェスタかわからないということですね。

(事務局)

- ・おはなし会マップは、破れている箇所等を補修する。また、おはなし会の日時は確定していないため、団体名のみを記載しようと考えている。
- ・マップの周りに、メッセージを付けた団体紹介パネルを配置しようと思っている。パネルとは別に追加情報を付ければ、団体が今どんな活動をしているのかが伝わる。
- ・紹介パネルの内容を変えたい場合は、作り変えていただいて構わない。

(多摩おはなしの会)

- ・メッセージを伝えたい団体はそれでよい。
- ・9月、コアラ文庫が児童コーナーでおすすめ本の展示をしていた。あれだけの規模でなくても、おはなし会で読んだ本を数冊展示する等、それぞれ考えたことをできるスペースがほしいということだった。

(文庫連絡協議会)

- ・今、ボランティア団体は紹介パネル1枚のみだが、もう少し立体的にアピールをで

きればということか。

(多摩おはなしの会)

- ・メッセージのみを希望する団体は、立体的な展示物がなくてもよい。

(事務局)

- ・では机1、2つ程度のスペースを設けるので、どこかの団体に必ず展示をお願いしたい。
- ・スペースについては今後検討する。ただ会場には職員が大勢いるわけではないので、そのような状況の中で展示して支障のないものに限る。
- ・メッセージについては、「掲示を希望する団体は提出を」という形で、12月中に各団体に依頼をする。

(会長)

- ・今回会議に出席していない団体にも趣旨が伝わるよう、「今回はコロナ禍の中での開催で、特別おはなし会も開催しないため、代わりにメッセージを」等の書き方をしてほしい。

(事務局)

- ・メッセージの例があれば会議に参加していない団体も書きやすいと思うので、例を出していただければ、こちらでそれを送付する。

(多摩おはなしの会)

- ・今の状況で行っている活動や、紹介したい本等、各団体が知らせたいことでよい。例を挙げると、内容の幅が狭くなってしまう。

(おはなしチャチャチャ)

- ・文に限らず、写真などでもよいか。また、文の場合手書きしたものを送ればよいのか。

(事務局)

- ・写真も可。パウチ加工をしようと考えているので、できればデータをご送付いただきたい。

(文庫連絡協議会)

- ・用紙の大きさがA5だと小さいのではないか。

(事務局)

- ・大きいと、作成するのが難しい団体があるかもしれない。
- ・団体によって大きさが異なると、整然と並べられないため大きさは統一したい。

(おはなしチャチャチャ)

- ・せめてB5がよい。また、掲示の際、上部はパネルに貼り付けるため、重なるのか。重なるならば、重なる部分には何も記入しない旨も伝えなければならない。

(事務局)

- ・A4でもよい。
- ・原稿をいただいて、こちらで入力することを考えていたが、各団体で完成品を作成するという事か。

(会長)

- ・用紙の大きさと向きを指定していただければ、原稿を送付するか完成品を作成するのは各団体に任せてよいのではないか。

(事務局)

- ・または、事務局ではパウチ加工のみ行うということでも構わない。そうすれば各団体でデザインや文字の大きさを自由に設定でき、写真を貼ることもできる。紙もあまり厚いとパウチ加工できないが、コピー用紙や色上質紙ならば問題ない。

(文庫連絡協議会)

- ・確認だが、このメッセージ掲示は今回のほんともフェスタ限りのものか。毎年同じものは使えないと思うが、来年度も行うのか。

(事務局)

- ・今回限りの予定だが、今回のこの企画がよいようであれば、次回も新たにメッセージを募って掲示する。

(文庫連絡協議会)

- ・来年度以降も行う場合、パウチ加工の予算は問題ないのか。パウチ加工でなく、台紙を貼りつける等の方法でもよいかもしれない。

(事務局)

- ・では、台紙を貼る方法も検討する。今回は「A4横長で、縦・横書き自由。掲示を

希望する団体は提出を。」ということで依頼する。

- ・展示物は、どこかの団体でご用意いただけるのであればお願いしたい。

(多摩おはなしの会)

- ・1つの団体がテーブルを占領しないよう、展示したいもの募っていただきたい。

(事務局)

- ・では、「机を用意するので、展示したいものがある団体はご連絡ください」という内容でご案内を出し、後から個別に調整することとする。

### (3) 令和3年度にむけての市民ボランティア連絡会委員募集について

(事務局)

- ・市民ボランティア連絡会委員は随時募集しているが、次年度にむけてのPRということで、毎年3月5日号のたま広報に記事を掲載している。今年も同様に掲載する。
- ・たま広報以外の周知方法も例年と同様で、事務局で把握している団体には、こちらから通知文を送付する。また、学校で活動している団体へは、学校長宛に通知文を送付する。それ以外の団体には、委員の皆様からお知らせいただきたい。

## 3 情報交換及び次回の日程について

(会長)

- ・アクションプランは現在どのような状況か。

(事務局)

- ・現在取りまとめ中であり、本日はお配りできない。

(事務局)

- ・今年度のほんともフェスタの講座は、壁画家で紙芝居作家の松井エイコさんを講師としてお迎えする。定員は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため15人とする。10～20代の若い世代に向けた企画である。2月25日から申込受付を開始する。今後、小・中学校、高校、大学にPRを行う。

(多摩おはなしの会)

- ・10～20代対象とのことだが、紙芝居の世界を紹介して、そこから本と子どもたちや若い世代を繋げていくという趣旨なのか。おはなし会の演者は大人だが、なぜ

対象が10～20代なのか。紙芝居を使うことで、様々なことが表現できることを伝えたいということか。10代20代の人が、紙芝居にどう関心をもつのか。

(事務局)

- ・若い世代に紙芝居の奥深さ、演じ方を学んでもらい、今後の文化活動に活かしてもらいたいということで企画した。

(コアラ文庫)

- ・おはなし会などで子どもたちに本を届ける活動は、これからは今の若い人がやっていく可能性もある。これまで若い人は紙芝居の受け手であったが、これからは若い世代が積極的に発信していくという企画で、よいと思う。今、様々な状況の子どもがいる中で、同世代同士の語らいというものも大切である。そのような意味で、若い人にも参加してほしいと思う。

(文庫連絡協議会)

- ・ティーンズに向けて発信するならば、話しかけるようなキャッチコピーがあると伝わりやすいのではないか。近い年齢の人の感性で呼び掛け文を作るといったような工夫があるとよい。
- ・紙芝居は、海外にも発信されている日本独特の文化だということを強調したら、子どもも興味をもつのではないか。そんな紙芝居の読み手になりませんか？というような形の呼び掛けができればよいのではないか。

(会長)

- ・もう少しキャッチコピーの工夫がほしい。

(事務局)

- ・この文面で決定したいと考えていた。

(会長)

- ・ではこのような意見もあったということで、頭に入れておいていただきたい。

(会長)

- ・次回開催は、来年5月20日(木)または27(木)を予定している。

(事務局)

- ・可能ならば5月20日(木)がよい。10時から、講座室で行う。新型コロナウイルス

ルスの状況がわからないが、なるべく短時間で開催したい。

(文庫連絡協議会)

- ・10・11・12月のお便りがあるので配付する。
- ・来年の文庫展で石津ちひろさんをお招きする。

(会長)

- ・2016年冬号の「この本読んで！」に「渡辺茂雄の世界」という特集が掲載されており、「へなそうるのへや」も載っているので、ご紹介する。

閉会

(午前11時55分終了)